

笑 顔

☆まあいじかん☆

篠山東中学校 3年1組学級通信

第 61 号

2018(平成30)年11月30日発行

発行者 松田 淳二

文化祭を振り返って(自分の成長編)

○困っている人がいたら、お手伝いをするなど先を見て行動できた。自分が思ったことを誰かにすぐに伝えることができて良かった。

○物事に対してこだわることができるようになった。大道具で銀杏の葉っぱの形を丁寧に切ったり、向きを揃えたり、合唱では「だが蒼鷺は」の部分をだんだん大きくしたり、音程を合わせたりして色々なことにこだわることが良かった。

○クラスのために何をしたらいいのかや何ができるのかを考えて、主体的に動けるようになった。

○自分のためではなく、みんなのために自分ができることを精一杯するということを学ぶことができた。みんなのために自分のできることをしてクラスに貢献できてうれしかった。

○いつもより強い思いで成功させようと思えた。

○自分が思ったことを言ってみたり、まわりを見て積極的に行動できるようになった。

○自分のできていないところを何回も練習をして最後までやりきれたことが良かった。

○劇のセリフで「ここはこうしよう」や「そこは〇〇のように言ったら自然で違和感がない」と言って自分が考えていることを言えるように少なくなった。

○自分から主体的に動くことができた。パート練習とかでアドバイスを自分から言ったり、分からないところはなるべく先生に聞いたりすることができた。アドバイスのときの返事を積極的にできた。



○人を描くのは難しいから苦手意識を持っていたが、モーツァルトなどの肖像画を描いて、人を描く楽しさが分かった。背景という大きな絵を描くにあたっては、一人では描けないので手分けをしたり指示を出したりする大切さと難しさとコツが分かった。

○背景で、最初は何をするのか分からないからみていることが多かったけれど積極的に動いて次に何をするのかを考えることができた。分からないときに聞くことも大事だと思った。

○クラスの人と協力し色々な仕事ができるようになった。

○準備の大切さを改めて知った。初めてやった太鼓でも夏休みからコツコツと練習、準備してきたから本番うまくたたくことができたし、合唱も初めての4部合唱で、初めての音取りをしたけれど、準備をしたらしっかり自分の役割を果たせたから、準備は大切だと思った。

○全校合唱練習の進行をするにあたって、計画的に進められた。全校生を動かす立場だったので責任を持って計画できたのが良かった。

○色々なことを両立できるようになった。夏休みはコンクールと伴奏、勉強、練習期間は伴奏、夢を信じての伴奏づけ、小道具、吹奏楽部の演奏、定期演奏会の色々な原稿など色々重なりとてもしんどかったが、最終的に両立ができた。

○練習を積極的にできたことと分からないところや疑問に思ったことを先生や友だちに聞いた。荷物や道具を自分から持っていくたりできた。

○自分の苦手なところをとことん練習して克服した。一人で練習するだけでなく、友だちにみてもらったり、一緒にセリフを合わせたり、工夫をすることができた。考えすぎないでとりあえず体を動かしてみることを学んだ。1つ課題を挙げて1つ克服する、1つ課題を挙げて1つ克服するという風に1つずつ克服していくことを学んだ。

○脚本係をして、文章を読む力や原稿を書く力がついていけば嬉しい。

○主体的に動けるようになった。人の指示を待つだけだったけれど自分から何かある？と聞けるようになった。また、指示を明確に出せるようになった。先のことを考えてスムーズに流れるような指示が出せた。



○短期間で2つのことを同時に終わらすことや先のことを見通した行動を取ること、苦手なことにも挑んだことが成長した。

○自分の役割に責任を持つことが成長した。生徒会、パートリーダー、背景係という役割があった。その役割を着実にすることができた。文化祭で団結力が高まったことで少し、友誼(友情)が厚くなり、コミュニケーションが取りやすくなった。

○計画をして、それを実行することが成長した。背景係として、とても大きな背景を何日までに下書きを完成させて、何日までに壁を塗り終えるなどを計画して働いた。

○1年からだけ大装具として裏方に入り、キャストの人たちを支える大切さを知ったと思う。クラスが一つになる大切さも知った。

○今まで沢山の人の前でしゃべるのはできなかったけれど、曲紹介を、マイクを持って言えたのが良かった。

○できなかつたり難しいことがあると、もういいやなどとすぐに諦めたりすることがあった。今回、役でピアノの伴奏をすることになり、最初は右手だけで精一杯だったけどもう少しがんばったらもっと弾けるなど自分にプラスのことを思い続けて毎日練習に取り組むことができた。時間をかけてでも諦めずに取り組むことができたのが成長したところだ。

○個人個人の仕事がしっかりでき仕事が無くなったなら他のところの仕事を手伝うことができた。

○今までは自分が気づいていても言わなかつたり、行動に移さなかつたりしていたけれど文化祭中から自分で気づいたところを口に出すようになった。

○アドバイスを言われたときにこれまでの自分だったら深く捉えられていなかったのだが、文化祭を通して一つひとつのアドバイスに向き合えるようになった。他の人のアドバイスでも自分のこととして聞くことができるようになった。

○演劇の練習や合唱練習をしていて疲れて誰かが「疲れた」とか言うとプラスの声かけが言えたり、「もう少しがんばろう」と励ますことができた。

○最後まで諦めずにみんなをまとめることができたことが成長した。特に合唱で全員がまとまって歌えるのはどうしたらよいかを考えることができたし、各パートリーダーにも手伝ってもらってもっとよくなるように考えることができた。



○大道具係の人たちとのコミュニケーションする回数が増えた。他の人とのコミュニケーションももちろん増えた。

○キャストをして、自分に役に対してこれほどまでに深く考えたことはなかったので深く考えることができたからこのような演劇が出来上がったと思う。

○自分の意見を口に出すことがよくできたと思う。例えば、合唱で自分の苦手なところ、やりたいところをいったり、できていないなと思うところを言葉にすることができた。だからこれからの授業でも意見や感想を発表できるようにしたい。

○仕事を整理する能力がついたと思う。文化祭の期間を含む10月というのは色々な仕事がかぶっていた。その中でどの仕事を優先させるべきか考えることができた。

○今までは何かを完成させるまで自分だけでやるが多かったけど文化祭はクラスみんなの力がなければ成功しないので協力して、互いを認め合う心をもって生活することを心がけた。またアドバイスを積極的に言えたことが良かった。

○忍耐力、集中力、妥協せず音響でも徹底的に曲、効果音を聴きまくったことが成長できた。

○背景の仕事で期日までに終わらせることの大事さを知れたことと役割分担をすればすぐに終わる事を知れた。自分から仕事を探してできるようになったというのが一番成長できた。

○照明係として役者の人たちを照らしたり、アドバイスを考える中で、人の心情について深く考えられた。このことが実際の生活の中でも人の気持ちを考える中で活かせばいいと思う。

